芸術週間

11月1日（水）～7日（火）

芸術週間コンサート

20世紀初頭のパリで大流行したアコーディオン中心のアンサンブルによって演奏される、大衆音楽「バル・ミュゼット」。
好太郎が憧れたパリの雰囲気をお楽しみください。

日時　11月3日（金・祝）午前11時～（約30分）

出演　バル・ミュゼット楽団
La Zone（ラ・ゾーヌ）

会場　当館展示室３
定員　椅子席40名
（要整理券・要観覧券）

後援　三岸好太郎美術館後援会

特別展 美術講演会

三岸好太郎の孫であり高輪画廊代表の三岸太郎氏を講師としてお迎えし、1967年の北海道立美術館（三岸好太郎記念室）開館、1983年の北海道立三岸好太郎美術館新館開館の頃を振り返っていただきながら、三岸好太郎の芸術、その魅力の源泉について、お話しいただきます。

日時　11月５日（日）午後２時～（約１時間30分）

講師　三岸　太郎　氏
（三岸好太郎・節子の孫、高輪画廊代表）

会場　北海道立近代美術館講堂
定員200名　無料

特別展 優待料金観覧

午前9:30～午後5:00 ＊入場4:30まで

11月1日（水）から7日（火）までの芸術週間期間中、現在開催中の特別展「三岸好太郎再発見！」展を優待料金にてご観覧いただけます。

一般	700円→600円
高大学生	400円→300円
小中生	300円→200円

◎芸術週間期間中の月曜日、11月6日は開館します。

駐車スペースが限られております。公共交通機関等のご利用にご協力ください。

開催中 特別展「三岸好太郎再発見！」 ～12月5日（火） 会期中の休館日：11月13日（月）、20日（月）、27日（月）、12月4日（月）

一般700円（600円） 高大学生400円(300円) 小中生300円(200円) ＊（）内は団体、リピーター等割引、優待料金。

今年は、三岸好太郎生誕120年、そして新館開館40年の節目に当たります。日本の1920年代から30年代にかけての先鋭的画家のひとりとして位置づけられる三岸好太郎。その画業と作品をこの機会に見つめ直し、その足跡や芸術の特質を丁寧に振り返ります。

三岸好太郎〈のんびり貝〉1934年
北海道立三岸好太郎美術館蔵

mima 北海道立三岸好太郎美術館
MIGISHI KOTARO MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

〒060-0002　札幌市中央区北2条西15丁目　TEL 011-644-8901
北3条通・知事公館北側●地下鉄東西線「西18丁目駅」から約500m　●JR/中央バス（札幌←→小樽手稲方面）「道立近代美術館」停留所から約250m　●タクシーで札幌駅から5-10分
テレホンサービス・011-621-7000　HP・https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/mkb/